

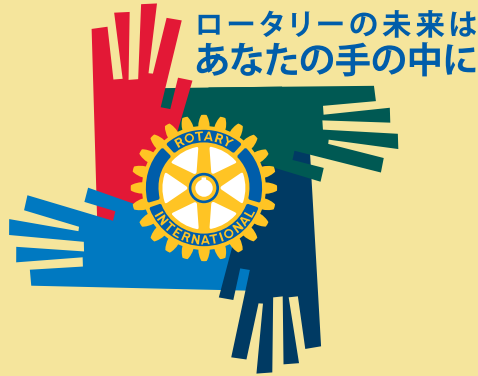


神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川 陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田 正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永健 |

●クラブテーマ「信頼」●



事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第7号週報 No. 1613 2009年(平成21年) 8月21日 第1613回例会記録 8月28日発行

- 司会** 飯田 泰之 副幹事
- 点鐘** 河野 明光 会長
- 斉唱** 「我等の生業」
- 四つのテスト** 伊東 英紀 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)
- ゲスト紹介** 小山 和伸 様(ゲストスピーカー)
- ビジター紹介** 横浜鶴見北RC 林 道広 君
- 誕生日祝** 高田 修 会員 (8月22日)
小山 市康 会員 (8月22日)

会長報告 河野 明光 会長

本日、中村眞巳会員よりクラブ宛に過分なるご寄付を賜りました。故ご令室、由利子様のご遺志をお継ぎし、有意義な奉仕活動に活用させていただきます。

植田委員長を始め親睦活動委員の皆様が2週に渡りご葬儀の受付業務をお努め頂きました事を心より感謝申し上げます。

幹事報告 山田 正憲 幹事

・本日、例会終了後8月度定例理事会がございます。

場所 3F ナイト

・来週の火曜日(8/25)、第4G会長・幹事に河野会長と私が出席して参ります。

・第3回横浜東RAC例会の案内が来ておりますので、回覧します。

日時 8月26日(水)19:30点鐘 場所 キャメロットジャパン

・米山梅吉記念館創立40周年記念式典のご案内が来ておりますので回覧します。



本日(8月28日)のプログラム

- ◆ 斉唱 「それでこそロータリー」
- ◆ 献立 そうめん御膳
- ◆ 卓話 『北京オリンピック、あれから1年思うこと
「叱る、ほめる、諭す!」
日本卓球協会元全日本女子監督 近藤 欽司 様
(紹介者 天野 公史 会員)』

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	61名	(50+11)名	
出席会員数	46名	(39+7)名	
出席率	80.70%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	94.83%	前々回補正後	93.22%

スマイルボックス

月山 勇 SAA

横浜鶴見北RC 林 道広君

本日はお世話になります。

高田 修君 お陰様で53才の誕生日を迎えることが出来ました。皆様の年齢迄はと考えております。

河野明光君 小山和伸先生、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

田邊正彦君 残暑御見舞い申し上げます。

山本 登君 本日もスベリ込みセーフ！！

吉田隆男君 長井さん、軽井沢ゴルフ合宿幹事お疲れ様でした。楽しく過ごさせて頂きました。

江森国一君 ①遼君とボルトのお陰で日本に居ながら時差ボケの毎日です。②本日、ボックスに財団と米山の寄付のお願ひ文を入れました。よろしくお願ひ致します。

川邊正男君 昨日のゴルフ合宿で出席の皆様お疲れ様でした。長井さん、色々お世話になりました。

加藤仁昭君 軽井沢ゴルフ参加の皆様、お疲れ様でした。天候、気候も最高で楽しく過ごせました。幹事の長井さんお世話になりました。

長井 章君 夏のゴルフ合宿に参加の皆様、お世話になりました。来年も宜しくお願ひ致します。

天野公史君 ①小山先生、本日も楽しい為になるお話ありがとうございます。②河野会長、昨日はごちそう様でした。

須永久一君 ゴルフ同好会軽井沢合宿にご参加の皆様、又、幹事の長井さん大変お疲れ様でした。

田中龍太郎君 ゴルフ夏合宿ご参加の皆様お疲れ様でした。幹事の長井様、色々ありがとうございました。また来年もよろしくお願ひ致します。

脇田いすゞ君 ちょっと風邪をひきました。新型インフルエンザではありません。

白鳥厚夫君 長井幹事、昨日のゴルフコンペありがとうございました。お陰で楽しませて頂きました。

月山 勇君 2週間振りのご無沙汰でした。新型インフルエンザが流行しているようです。お身体ご自愛の程。

卓 話**「アメリカ発 金融バブルの正体とは？」**

神奈川大学教授 小山 和伸 様

(紹介者 天野 公史 会員)

**経済危機の基本構造****ー金融バブル崩壊のメカニズムー**

昨年秋のリーマン・ショック以来の、金融バブル崩壊に端を発した経済危機は、今なお世界経済に暗い影を落としている。今回の、アメリカ発の金融バブルとは一体何であったのか。また、その破綻の真の原因とは何であったのか。さらに、問題解決の要点は何であるか。この3点こそ、本日の卓話の骨子である。

1. 金融バブルの正体

MBS、ABSなどの証券は、本来流動性の低い貸付債権や売掛債権などの資産を、流動化するために考案された証券である。流動性の低い資産を証券化して、資金環流が実現すれば、金融機関や企業はその資金を運用することによって、事業規模を飛躍的に拡大することができる。

一方、かかる金融商品は、様々なデリバティブおよびデリバティブ保証と組み合わせられて複雑化するとともに、あらゆるリスクが巧みにヘッジされたかに見えた。これに対する格付け会社の不見識な評価が相まって、金融バブルは膨張していった。

2. バブルの破綻

根本的な原因は、実物経済との連動の乏しい貨幣・金融経済の拡張にある。また、短期的視野に基づく消費至上主義の、アメリカ型の生活姿勢にも原因がある。今日なお、「日本の景気回復には、やはりアメリカの消費拡大が必要だ。」などの意見がある。真に、重篤な麻薬中毒患者のごとく、問題の本質を理解しない議論である。

3. 根本的解決策

第一に、金融経済を実物経済と連動させる、本来の健全な資本主義体制に近づけることである。「資本主義原理主義」のような言葉で、行き過ぎた競争などと非難する論調もあるが、資本主義と拝金主義を混同する無知には警戒を要する。

8月21日	16件	42,000円
本年度累計		411,000円

ルーヤンRC訪問レポート

このレポートは、前年度3月26日より5日間、ルーヤンロータリークラブを訪問した新世代のメンバーが、お世話になったルーヤンロータリークラブの方々に、感謝の気持ちを込めて送ったレポートです。週報の紙面に余裕がありましたのでご紹介いたします。
(新世代育成委員会)

「マレーシア～コタキナバル4泊5日～ 交流親善の旅」

西山真央

私は今回、神奈川東ロータリークラブとルーヤンロータリークラブとの交流親善大使として、マレーシア・コタキナバル島の4泊5日の旅に行かせて頂きました。

マレーシアに着くと、日本とはあまり変わらない程に発展している町並みを見て少し驚きました。私の想像とはだいぶ違う風景でした。

大きなビルやショッピングセンター、若い人が集まる、日本で例えてみると渋谷の様な所がマレーシアに存在していることに終始驚きでした。

私の想像では、まるで発展していなくて高いビルなどない国だと思っていました。しかし、とても毎日快適に過ごすことが出来ました。

また海で遊んだ時や植樹をした時には、マレーシア独特のたくさんの自然と触れ合うことが出来て貴重な体験となりました。

自然もあり、近代的な要素もあるマレーシアは本当に素晴らしい国だと思いました。

しかし、日常生活の中で、先進国日本との差を感じた部分がありました。それは“水”です。

日本では普通に水道水を飲むことが出来ますが、マレーシアでは飲む事が出来ませんでした。その時には、水の大切さを深く感じました。

私たちが滞在している間、水を安心して飲めないということがとても不便に感じられました。今後、水に対しての設備の充実を心より願っています。

今回の旅ではたくさんの新たな発見や経験、そして何より、国境を越えた仲間との出会いが私の心に深く刻まれた大切な思い出です。

仲間に国境なんて関係ない、言葉は通じないかもしれないけど笑顔は万国共通の言語だと感じました。

マレーシアの人達は優しい！！笑顔が絶えない！！また会いたい！！その様に感じた4泊5日でした。

今回私たちがマレーシアに派遣された意義—現地を学生を通しての国際交流、そして環境保護のための植樹—微力ながら果たせたことをここでご報告させていただきます。

この旅を企画して下さった方々、そしてホームステイ先でお世話になった方々全てに感謝しております。

本当にありがとうございました。

「びっくり！マレーシアでの驚きと体験の日々」

石川 千尋

神奈川東ロータリークラブとルーヤンロータリークラブとの提携による交流派遣学生としてマレーシア・コタキナバルの5日間の旅を楽しむことができました。両クラブとホームステイ先の方々に感謝を申し上げます。

現地の空港に着くと「ようこそコタキナバルへ」と書かれた段幕と多くの人たちに迎えられて、予想もしなかったこの大歓迎に驚きました。この日から5日間、私の驚きに満ちた旅が始まったのです。

マレーシアと日本。国が違うのですから、文化、風土、生活、全て違うのは当然の事なのですが……。料理の味に慣れるのも私にとっては大変なことでした。どれもこれも食べ物甘いのです。紅茶やコーヒーの甘さは日本とは比べ物にならないほど甘かったです。特に驚いたのは緑茶の味！なんとこれにも砂糖がはいっていたのです。紙パックの表示をよく見てみると「低糖」の文字が。日本人の考え方としてはあの苦味が緑茶なのに……。マレーシアの人たちは甘いものが好きなのでしょうか？聞いてみれば良かったなあ。

マレーシアと日本の法律の違いにも驚きました。日本では禁止されている飲酒運転。マレーシアでは禁止されていないのです。マレーシアに着いてからすぐに「歓迎会」として海鮮料理店で皆で夕食を食べたのですが、ホストファミリーは平気でお酒を飲んで、車を運転していたんです。事故を起こさないかと内心冷や冷やの状態でした。

1番苦労した？驚きはコタキナバルの大臣・ダンボック氏のスピーチです。たった5分の予定が、1時間30分にも延びてしまいました。その日の前日はあまりよく眠れていなかったので眠いのを我慢して聞いていなければなりませんでした。

様々な「驚き」もありましたが、感動の意味での「驚き」もありました。

28日に近くの離島・マヌカン島へ観光に出かけたのですが、海の色がエメラルドグリーンでとても綺麗で水面で魚が泳いでいるのが見えるほど澄んでいました。泳げなかったことがとても残念でした。

ジャングルに住んでいる原住民の方々の村を訪問した時、民族の衣装がとても素敵でした。楽器の音楽にのせたリンボーダンスもどんなに早いリズムでもリズムカルに踊っていて素晴らしかったです。

5日間何もかも日本とは違って毎日驚きの連続でしたが、全ては新鮮で楽しい日々を過ごすことができました。

皆様、ありがとうございました。

「IN マレーシア」

山際 理沙

3月26日

今日は1時半の飛行機でマレーシアへ・・・。

無事夜にマレーシアに到着しました。

飛行場を出ると、マレーシアのロータリークラブの方がWELCOME TO KOTA KINABARUの幕を持って到着口に立っていました。

歓迎会でみんなと一緒に夕食を食べました。



3月27日

Shan Tao学校で今日は表彰式が行われました。

学校の門の中にはみんなお花を持っていたりして、大臣の方が来るのを待っていました。日本では見られない光景だったのでとてもびっくりしました。

私たちはそこで日本語の曲、「故郷」「春」を歌いました。

とても緊張しましたが、出席していた皆様も手拍子をしていただけだったのでとてもうれしかったです。

その後、ステージの上でマレーシアの伝統のダンス「バンブーダンス」を踊りました。

思ったより難しかったです。みんなが優しく教えてくださったので、私にとってとてもいい経験をしました。



3月28日

この日は船にのり、小さい船で小さな島へ行き、海へ行きました。海はとても綺麗で海底が見えました。その上、日本では見られないような魚も泳いでいて、とても綺麗な場所だと思いました。

その後、「Sabah」という村に行き、日本でいう縄文時代みたいな所に行き、昔の人たちの生活のしかたを学んだりしました。

最後にマレーシアへ来て2回目のバンブーダンスを行いました。みんな慣れてきたようでみんな少し出来るようになっていました。



3月29日

今日は「Wetland」という環境センターのような所へ行きました。

最初はみんなとコミュニケーションをとるため、みんなの生涯のあったことを紙に書いたりして見せ合いました。

その後、外へ行き、マングローブの上へ乗ったり、木を水の中に植えたりし、めったにできないとても貴重な体験をしました。

3月30日

最後の日は飛行場に向かうだけでしたが、ホストファミリーの方々とお昼を食べ、この5日間の思い出話をしたりして飛行場でみんなとお別れし、みんな日本に無事帰国することが出来ました。

この5日間がとても短く感じました。

私はマレーシアに行って、今まで経験したことないことや、人との交流も深める事ができ、日本のことを伝えたり、マレーシアのことも学んで、とてもいい勉強になりました。

これから日本にいてもマレーシアで仲良くなった人たちとこれからも連絡をとっていきたいと思います。

次回《9月4日》の卓話予定

テーマ「教育荒廃の本質」

戸塚ヨットスクール校長 戸塚 宏 様